

令和元年度 ICT連携部会について

1. MCSの登録状況

MCS に関する実績(累計)

対応内容	4月 実績	5月 実績	6月 実績	7月 実績	8月 実績	9月実 績	累計
挨拶・説明・打合せ	0	0	0	0	0	0	0
訪問サポート	0	0	0	0	0	0	0
メール・電話・MCS 上 サポート	2	2	1	0	1	0	6
iPad に関する対応	0	0	0	2	1	0	3

MCS 登録メンバー数

※実績の(xx/yy)の表記は xx が市内・yy が市外となります。

対応内容	4月実績	5月実績	6月実績	7月実績	8月実績	9月実績
医師	68 (53/15)	68 (53/15)	69 (53/16)	69 (53/16)	69 (53/16)	70 (54/16)
歯科医師	42 (33/9)	42 (33/9)	42 (33/9)	42 (33/9)	42 (33/9)	42 (33/9)
薬剤師	78 (53/25)	78 (53/25)	78 (53/25)	78 (53/25)	78 (53/25)	78 (53/25)
訪問看護・訪問リハビリ	105 (44/61)	107 (44/63)	108 (45/63)	109 (46/63)	110 (46/64)	110 (46/64)
介護支援専門員	108 (45/63)	108 (44/64)	109 (45/64)	109 (45/64)	109 (45/64)	109 (45/64)
訪問介護	83 (47/36)	83 (47/36)	83 (47/36)	84 (48/36)	84 (48/36)	84 (48/36)
在宅介護支援センター	25 (20/5)	25 (20/5)	31 (26/5)	31 (26/5)	31 (26/5)	31 (26/5)
地域包括支援センター	13 (4/9)	13 (4/9)	13 (4/9)	13 (4/9)	13 (4/9)	13 (4/9)
行政	7 (7/0)	7 (7/0)	7 (7/0)	7 (7/0)	7 (7/0)	7 (7/0)
その他	41 (20/21)	42 (20/22)	42 (20/22)	42 (20/22)	42 (20/22)	42 (20/22)
計	570 (326/244)	573 (325/248)	582 (333/249)	584 (335/249)	585 (335/250)	586 (336/250)

2. 医療資源WEBマップの導入についての検討

<メリット>

- ・マップを作成することによって（ア）医療・介護資源の把握ができる。
- ・医療と介護の両方の情報を掲載することで、（ウ）切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築につながる。

・マップの掲示板機能を活用することで（キ）地域住民への普及・啓発部会啓発の手段が増える

<課題>

- ・初期費用及び年間使用料が必要となる。
- ・情報を集め集計、整理を行うための時間と労力が必要となる。
- ・情報の提供に関して、各団体の協力が前提となる。

3 今年度の部会の進め方

- ・医療資源Webマップについて、先行市への聞き取り調査、同業他社の製品との比較、武蔵野市に導入した場合の課題等の検討や整理を行っていく。